

薪ストーブからの火事に注意

其の壱 点検・掃除をこまめに行いましょう

煙突内に煤やタールが溜まっていると、引火し火事の原因になる恐れがあります。

機器の点検や煙突などの清掃をこまめに行いましょう。



其の弐 乾燥した薪を使用しましょう

湿った薪を使用すると、煤やタールが多く発生し煙突内に留まりやすくなります。

十分に乾燥した薪を使用しましょう。



其の参 低温着火を防止しましょう

ストーブ本体や煙突の熱が周囲の木材を長期間熱し、炭化することにより低温で発火する現象です。

壁の内部や屋根裏など見えないところで進行し、突然火事になります。

ストーブ本体や煙突から離隔距離が必要です。



其の四 灰の処理は正しく行いましょう

ゴミ箱などに入れると残り火で火事になる恐れがあります。

完全に火が消えたのを確認し、蓋のある不燃性の容器に入れて処理しましょう。

